

伝統漆芸

麗

## セーラー万年筆株式会社

文具事業部 / 〒130-0022 東京都墨田区江東橋4-26-5 東京トラフィック錦糸町ビル5F  
TEL 03(3846)2919

<http://www.sailor.co.jp>



## シリーズ名「麗（れい）」について

漆塗りの調度品(漆器)の価値は奈良・平安時代、貴族社会の富の象徴、神仏世界具現の麗美なものとして確立したとされます。漆の語源とも云われる「麗(うるわし)」は、この上もなく美しいものを意味する言葉で、日本の美の概念が芽生え栄えたその時代ゆえ「漆」に「うるわしき」を与える言葉として漆に繋がっていったのは自然なことだともいえます。日本の伝統の美しさや奥深さ、人に潤いと感動を与えるものとして、ペン軸始め付属の一本袋や桐箱に名高い真田紐と拘り、すべて国産を意識し、伝統漆芸「麗」シリーズと名付けました。

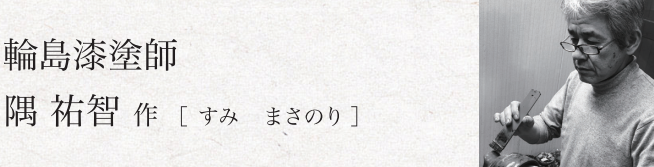
漆塗りの調度品(漆器)の価値は奈良・平安時代、貴族社会の富の象徴、神仏世界具現の麗美なものとして確立したとされます。漆の語源とも云われる「麗(うるわし)」は、この上もなく美しいものを意味する言葉で、日本の美の概念が芽生え栄えたその時代ゆえ「漆」に「うるわしき」を与える言葉として漆に繋がっていったのは自然なことだともいえます。日本の伝統の美しさや奥深さ、人に潤いと感動を与えるものとして、ペン軸始め付属の一本袋や桐箱に名高い真田紐と拘り、すべて国産を意識し、伝統漆芸「麗」シリーズと名付けました。

輪島塗りは石川県、能登半島、輪島市の代表的な漆工芸で、伝統工芸品の一つです。その歴史は古く平安から室町時代と云われています。国内でも厳しい風土の輪島は、漆塗りに丈夫さを求め、創意工夫をし、下地から上塗りまで数えきれないほどの手間をかけ生み出されたもので、堅牢かつ優美なものに進化させてきたことが輪島塗りの特徴と云えます。輪島の漆文化の確立は、江戸時代前期頃と云われ、輪島塗りは優れた漆器として全国に知られていきました。

他の漆産地でみることのできないほど数多くの工程があるため、輪島塗りの漆塗りを修得するには時間がかかります。職人といわれる工人達は、代々伝わる先人達(親方)のもとで時間をかけて修行することで、真摯な職人氣質が育ち、優れた質の漆製品が誕生します。

現在、輪島塗りは、国から伝統的工芸品として、技術は重要無形文化財として指定されています。

現在、輪島塗りは、国から伝統的工芸品として、技術は重要無形文化財として指定されています。



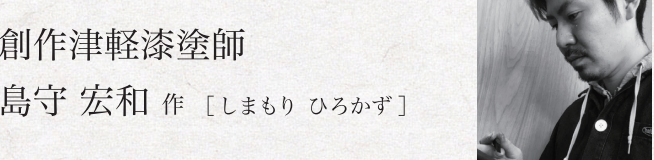
プロフィール  
輪島塗歴40年。  
昭和50年代に漆工房に弟子入りし、100以上あると云われる輪島塗りの製作過程の下作業から、下塗り、中塗り、上塗り、磨きと全ての技術工程を修得する数少ない職人の一人。  
現在は、どの作業工程にも対応できる熟練の技術者として活躍している。

現在、輪島塗りは、国から伝統的工芸品として、技術は重要無形文化財として指定されています。

現在、輪島塗りは、国から伝統的工芸品として、技術は重要無形文化財として指定されています。

津軽塗りは、青森県の漆工芸で、伝統工芸品の一つです。江戸時代中期、弘前藩が奨励して弘前を中心に発達した漆塗りです。武家の世が安定した江戸中期は、武士が腰に差す刀の鞘も装身具としての要素が求められ、津軽の変わり塗りの美麗な彩りが好まれ流行り、普及したとも云われています。そして、全国の漆器産地の中でも特殊な変わり塗りとして、津軽塗り漆器は国内に広まりました。本州、最北のこの地方は気候が寒く漆の乾きが悪く、色の出も良くないため、工夫を重ね、「研ぎ出し変わり塗り」という技法を生み出しました。津軽塗りは、漆の重ね塗り(凹凸)が特徴で、その重ね塗りにより頑丈でしっかりとした漆器となり、独特の風合いが特徴となっています。

現在、輪島塗りは、国から伝統的工芸品として、技術は重要無形文化財として指定されています。



プロフィール  
青森県八戸市生。  
大学にて工芸デザイン彫金科卒業  
卒業制作展で優秀賞受賞  
津軽塗技術研修所(青森県弘前市)卒業  
津軽塗秀作展で優秀賞受賞

2011年 歴史ある伝統の可能性を求め、創造性と感性溢れる漆芸と彫金の融合した伝統工芸品の価値を高めるため、オリジナルブランド「LANDPROTECTO」を立ち上げる。  
以後、オリジナル作品展、企画展、グループ展、クラフトフェアなど数多く出店し好評を博している。

現在、輪島塗りは、国から伝統的工芸品として、技術は重要無形文化財として指定されています。

現在、輪島塗りは、国から伝統的工芸品として、技術は重要無形文化財として指定されています。

品番：10-8053-420  
JAN：49-01680-14916-3  
ペン先：21金、中字、大型  
蓋・胴：黒檀、輪島曙塗  
大先：PMMA樹脂／ブラック  
本体サイズ：φ17×151mm  
本体重量：29.1g  
包装単位：1本入り  
パッケージ：専用桐箱 （156×201×49mm）

当製品に施されている曙塗りは、輪島在住で40年輪島塗りに携わっている職人、隅祐智氏の作品です。漆黒の闇のなかから陽が生まれ出るような趣を造り出す、漆塗りのなかでも困難な技術とされるぼかし塗りは、手仕事ゆえに一本、一本微妙に味わいが変わる深い優れた逸品です。

現在、輪島塗りは、国から伝統的工芸品として、技術は重要無形文化財として指定されています。

現在、輪島塗りは、国から伝統的工芸品として、技術は重要無形文化財として指定されています。

現在、輪島塗りは、国から伝統的工芸品として、技術は重要無形文化財として指定されています。

現在、輪島塗りは、国から伝統的工芸品として、技術は重要無形文化財として指定されています。

現在、輪島塗りは、国から伝統的工芸品として、技術は重要無形文化財として指定されています。

現在、輪島塗りは、国から伝統的工芸品として、技術は重要無形文化財として指定されています。

品番：10-8055-420  
JAN：49-01680-14915-6  
ペン先：21金、中字、大型  
蓋・胴：黒檀、津軽錆塗  
大先：PMMA樹脂／ブラック  
本体サイズ：φ17×151mm  
本体重量：31.5g  
包装単位：1本入り  
パッケージ：専用桐箱 （156×201×49mm）

当製品に施されている錆塗りは、青森県・八戸在住の現代工芸作家、島守宏和氏による、創作津軽塗りの作品です。津軽塗りの伝統技法を学び、修業後に創意して生まれた漆塗りで、アクセサリーに通じる独創性溢れる作品で、錆びという難しい世界に工夫を重ねながら、漆の品位を損なわないものとして優れた逸品に仕上がりました。

当製品に施されている錆塗りは、青森県・八戸在住の現代工芸作家、島守宏和氏による、創作津軽塗りの作品です。津軽塗りの伝統技法を学び、修業後に創意して生まれた漆塗りで、アクセサリーに通じる独創性溢れる作品で、錆びという難しい世界に工夫を重ねながら、漆の品位を損なわないものとして優れた逸品に仕上がりました。

現在、輪島塗りは、国から伝統的工芸品として、技術は重要無形文化財として指定されています。

現在、輪島塗りは、国から伝統的工芸品として、技術は重要無形文化財として指定されています。

現在、輪島塗りは、国から伝統的工芸品として、技術は重要無形文化財として指定されています。

現在、輪島塗りは、国から伝統的工芸品として、技術は重要無形文化財として指定されています。



現在、輪島塗りは、国から伝統的工芸品として、技術は重要無形文化財として指定されています。

現在、輪島塗りは、国から伝統的工芸品として、技術は重要無形文化財として指定されています。

品番：10-8054-420  
JAN：49-01680-14917-0  
ペン先：21金、中字、大型  
蓋・胴：黒檀、輪島溜塗  
大先：PMMA樹脂／ブラック  
本体サイズ：φ17×151mm  
本体重量：31.2g  
包装単位：1本入り  
パッケージ：専用桐箱 （156×201×49mm）

当製品に施されている溜塗りは、輪島在住で40年輪島塗りに携わっている職人、隅祐智氏の作品です。溜塗りは、上塗りの一種で、中塗りの朱塗りをした表面に透明な漆(透き漆)を塗って仕上げたものです。透き漆は、薄い茶褐色をした透明なため、透き漆を通して中塗りの色がにぶく落ち着いた色になり、深みが増し、使うほどに光沢が出てくる漆塗りならではの優れた逸品です。

現在、輪島塗りは、国から伝統的工芸品として、技術は重要無形文化財として指定されています。

現在、輪島塗りは、国から伝統的工芸品として、技術は重要無形文化財として指定されています。

現在、輪島塗りは、国から伝統的工芸品として、技術は重要無形文化財として指定されています。

現在、輪島塗りは、国から伝統的工芸品として、技術は重要無形文化財として指定されています。

現在、輪島塗りは、国から伝統的工芸品として、技術は重要無形文化財として指定されています。

現在、輪島塗りは、国から伝統的工芸品として、技術は重要無形文化財として指定されています。

現在、輪島塗りは、国から伝統的工芸品として、技術は重要無形文化財として指定されています。



万年筆は、しなやかな書き心地に定評のある21金大型ペン先、軸には硬く丈夫で高級家具や仏壇、楽器などに使われる銘木「黒檀」を使用しています。

現在、輪島塗りは、国から伝統的工芸品として、技術は重要無形文化財として指定されています。

現在、輪島塗りは、国から伝統的工芸品として、技術は重要無形文化財として指定されています。

現在、輪島塗りは、国から伝統的工芸品として、技術は重要無形文化財として指定されています。

現在、輪島塗りは、国から伝統的工芸品として、技術は重要無形文化財として指定されています。

内容：  
専用トレイ サイズ：W227×D227×H20mm  
お取扱店プレート サイズ：W50×D42×H27mm

現在、輪島塗りは、国から伝統的工芸品として、技術は重要無形文化財として指定されています。

現在、輪島塗りは、国から伝統的工芸品として、技術は重要無形文化財として指定されています。



現在、輪島塗りは、国から伝統的工芸品として、技術は重要無形文化財として指定されています。

現在、輪島塗りは、国から伝統的工芸品として、技術は重要無形文化財として指定されています。

内容物  
・万年筆 ・桐箱 ・真田紐 ・一本袋 ・クリーニングクロス ・カートリッジインク（ブラック）2本  
・万年筆品質保証書 ・取扱説明書



一本袋は、着物をほどいた生地を裁断し、一つ一つ手作りで仕上げております。着物からとった上質な正絹の手ざわりは心地良く、すす竹から手作業で削り出して作った爪も相まって、万年筆の収納に適した仕上がります。※色、柄は一つ一つ異なります。

桐箱は漆製品の保管に最も適した素材と言われており、木目が細かく高品質な国産桐を使用しております。結紐には千利休も茶道の道具箱に愛用したといわれる伸びにくく丈夫な真田紐を使用しております。

現在、輪島塗りは、国から伝統的工芸品として、技術は重要無形文化財として指定されています。

現在、輪島塗りは、国から伝統的工芸品として、技術は重要無形文化財として指定されています。

現在、輪島塗りは、国から伝統的工芸品として、技術は重要無形文化財として指定されています。

現在、輪島塗りは、国から伝統的工芸品として、技術は重要無形文化財として指定されています。

現在、輪島塗りは、国から伝統的工芸品として、技術は重要無形文化財として指定されています。